

人間科学部客員教授紹介

田中 浩一 客員教授

くスポーツビジネスを目指す諸君へ！

大阪経済大学人間科学部はスポーツ健康コースを有しており、今後増々の発展が予想されるスポーツビジネスの世界に興味をもつ学生は多い。今回、田中浩一先生に『スポーツビジネスを目指す諸君へ！』と題して講演をしていただき、教室が満席になるほどの盛況ぶりであったことは、このニーズを裏付けるものと言えるでしょう。しかしながら、この講演内容は、チームの勝敗と給与との関係やスポンサーとの関係などの現実的なお金の話、スポーツビジネスを職として目指す者の夢を打ち砕くような話、選手をどのように育てていくかという話などスポーツビジネスの現場をあらさまに話していただいたので、スポーツビジネスの世界で働くことは夢や希望だけでは難しいことを実感する内容でした。

田中先生は株式会社アスリートグリーン兵庫の代表取締役をされており、講演会は『兵庫ストークス』というプロバスケットボールチームの経営、企画、運営の話を

中心に話を展開していただきました。とくに、チケット販売のために一件一件飛び込みで営業をしている話は、地道な努力と苦労が必要な業界なのだと感じました。さらに、試合で負けた時は応援者からボロボロに文句を言われるが、勝った時はたくさんの褒めの言葉をいただき、この仕事へのやりがいと感じるとのことでした。チームや選手を愛することが、スポーツビジネスの職を遂行する原動力になると感じたエピソードでした。このように、田中先生の波乱万丈の人生経験を題材にして、スポーツビジネスとはどういう職で、どういう苦労があつて、どのような喜びがあるということを聴けた時間でした。学生たちもスポーツビジネスの良い幻想だけでなく、現実を知り、具体的な職としてのイメージが出来たと思います。今後、インターシップも受け入れていただけるとのことですので、ぜひ本学の学生は積極的にスポーツビジネスの現場を肌で経験して、このスポーツビジネスの世界で大きく活躍して貰いたいと思います。

・学生の感想①

私は、スポーツビジネスという仕事はとても楽しいものだと思っていました。今回の講演会を聞いてその考えは変わりました。すごく厳しい世界だなと思いましたが、就職する上では知っておいた方が良い話ばかりだったの

客員教授紹介

で、すごくいい経験になりました。

・学生の感想②

スポーツ経営は難しいというか厳しいのだなと思いました。ただ、試合に観に来てもらうだけでなく、どうしたらチームを応援してもらえるか、シーズンを通して観てくれるのかを考える必要性があるのだと感じました。

・学生の感想③

スポーツ業界全体の発展を考えて、何をしなければいけないか、どうすればファンの方々に恩返しできるかという発想が大切で、それに伴う行動力が必要になるのだと思いました。

（人間科学部講師 明石 光史）



講演会の様子